

MUSEUM NEWS

2022.2 ▶ 2022.3

開館40周年記念展
扉は開いているか
—美術館とコレクション 1982-2022

とき・2/5(土)～5/15(日)

※ 会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:3/27(日)まで/後期:3/29(火)から

ところ・2階展示室

内容・1982年11月3日に開館した埼玉県立近代美術館は、2022年に開館40周年を迎えます。当館が40年にわたって積み重ねてきた活動を、収蔵作品や資料によって様々な角度から紹介します。これまで築いてきた土台を検証するとともに、これからの美術館を展望します。

観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)

※ ()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

実施が決まり次第、HP等でお知らせします。



北野謙《光を集めるプロジェクト》埼玉県立近代美術館屋上から(東) 2015冬至-2016夏至) 2017年



マルク・シャガール《二つの花束》1925年
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022, Chagall © E4528

アート体感ワークショップ MOMASのとびら

全プログラム事前予約制です。

当館ホームページからお申込みください。

《3月のプログラム》

3月分のお申込みを2/1(火)から受け付けます。

〇工房

とき・3/5(土) 13:30～15:00

対象・小学生～一般 費用・500円

〇み～っけ!

とき・3/12(土)、19(土) 各日13:30～15:00

対象・未就学児(4～6歳)+保護者 費用・無料

《4月のプログラム》

4月分のお申込みを3/1(火)から受け付けます。

〇フリープログラム

とき・4/9(土)、23(土)、30(土) 各日13:30～15:00

対象・どなたでも 費用・無料

※ 開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合、抽選とさせていただきます。ご了承ください。

※ 「み～っけ!」は、MOMASコレクションが企画展のどちらかに関連した活動を行います。

※ 各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ

<https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら>



一般展示室(地階)

※ 日程・内容は変更される場合があります。当館ホームページで最新内容をお知らせしています。

※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆2/1(火)～2/6(日)

第45回埼玉国展……………一般展示室1

◆2/9(水)～2/13(日)

令和3年度埼玉県立美術系高等学校作品展・卒業制作展……………一般展示室1～4

◆2/15(火)～2/20(日)

全日本写真連盟ネーチャーフォト支部写真展……………一般展示室4

◆2/19(土)～2/20(日)

令和3年度第62回埼玉県小・中学校等児童生徒美術展第14回中央展覧会……………一般展示室1

◆2/22(火)～2/27(日)

埼玉大学教育学部図画工作・美術分野卒業・修了制作展……………一般展示室2

埼玉大学教育学部図画工作・美術分野彩展……………一般展示室3

孔可立書法作品展……………一般展示室4

◆3/1(火)～3/6(日)

埼玉現展……………一般展示室2・3

◆3/8(火)～3/13(日)

第47回埼玉書道三十人展……………一般展示室1

◆3/8(火)～3/20(日)

ヨシズミ トシオ展……………一般展示室4

◆3/16(水)～3/20(日)

SMFアートの宝船展2022「くもをたがやす」……………一般展示室1

◆3/22(火)～3/27(日)

第27回彩の国さいたままきりえ展……………一般展示室2

第17回彩の国写真倶楽部・写真展……………一般展示室4

◆3/29(火)～4/3(日)

春休みのひと休み みゃうか……………一般展示室4

MOMASコレクション第4期[前期展示]

ファン・ゴッホがやってきた!

オランダのハーグ郊外に広がる牧草地。荷車の向こうで牛がのんびりと草を食み、三角屋根の街並みの奥には教会の塔と工場の煙突が覗いています。フィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890)による水彩画《草地、背景に新しい教会とヤコブ教会》(以下《草地》とします)は、ご所蔵者である丸沼芸術の森(埼玉県朝霞市)からのお申し出を受け、2020年度より当館に寄託されています。



フィンセント・ファン・ゴッホ《草地、背景に新しい教会とヤコブ教会》1882年 寄託作品/丸沼芸術の森蔵

《草地》が描かれたのは1882年7月中旬とされます。画家を目指して修業中だったファン・ゴッホは、1881年12月にハーグに移住し、ハーグ派の画家アントン・マウフェの指導を受けていました。しかし、ファン・ゴッホが下層階級の女性シーン・ホールニクと親しくなったことから、師弟の関係は決裂に至ります。周囲の人々との不和による孤独感を募らせながらも、ファン・ゴッホは画家としての一歩を踏み出すべく、水彩による風景画に本格的に取り組みはじめていました。弟テオに宛てた手紙からは、水彩画の教本を参考にしつつ試行錯誤を重ねている様子がうかがえます。型破りなイメージがついてまわるファン・ゴッホですが、《草地》の丹念に描かれた輪郭線や繊細な筆触には、意外なほど実直かつ勤勉な一面を見ることができそうです。

《草地》を含む修業時代の作品群は、ファン・ゴッホの実家に置かれていました。やがて作品の入った木箱ごと大工に譲られ、露天商に二束三文で売られるなどして、一部は散逸してしまいます。《草地》は1903年にロッテルダムの画廊で一度だけ展示された後、複数のオランダ人コレクターの手に渡りましたが、1950年代以降は行方がわからなくなっていました。どうやって日本にやってきて、どんな遍歴を重ねたのか、詳しいことはわかっていません。2020年9月に丸沼芸術の森が収蔵したことは、事実上の再発見といえます。このニュースは国内外で驚きをもって迎えられ、2021年10月に朝霞市博物館でお披露目された際には多くの来場者を集めました。

2021年12月現在、ご所蔵者および関係機関のご協力のもと、各種の科学調査を実施しています。顕微鏡を覗き込むと、牛や人物などの細部が圧倒的な存在感で迫ってきました。また、蛍光X線分析では、作品に含まれている元素を解析し、どの部分にどんな絵の具が使われているのかを推定することができます。科学の眼を通すことで、さまざまな色調のグリーンが重ねられた牧草地がさらに違った魅力を帯びて見えてきました。調査の成果は、今後の展示に活用するとともに、国内外でのファン・ゴッホ研究に役立つよう広く公開したいと考えています。



蛍光X線分析の様子

MOMASコレクション第4期では、《草地》を当館で初めて展示します。水彩画は非常に繊細なため、保存上の観点から前期(2022年2月12日[土]～3月13日[日])のみの展示となります。どうぞお見逃しなく!(S.A.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は桜の季節や入学式・卒業式のお祝いにおすすめの楽しい立体桜のポップアップカードです。

繊細なカットアートが飛び出し、思わず飾りたくなるおしゃれなカードです。大切な方へのメッセージを思い出に残る形で伝えてみませんか。



SAKURAポップアップカード 1,320円(税込)

編集後記

A面上段のグレーは利休鼠色。美術館そのものにフォーカスする開館40周年記念展にあわせて、美術館建築の色にしてみました。(M.H.)

zocalozocalozo

埼玉県立近代美術館

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
URL・<https://pref.spec.ed.jp/momas/>
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日(3/21は開館) 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。

